

## 保健体育科学習指導案

- 1 単元名 球技：ベースボール型「ソフトボール」
- 2 単元について  
ソフトボールは、相対する2チームが打撃や走塁等の攻撃側と捕球や送球等の守備側に分かれ、攻守を交代しながら、規定の回数内で得点を競い合う集団的スポーツである。  
本単元では、主としてルールを工夫したり、ソフトボールが得意な生徒が苦手と感じている生徒に教えたりすることで、ベースボール型の球技に一層興味をもち、楽しんで練習やゲームに参加できるようにしたい。
- 3 研修主題との関連  
ゲームを通して、技能段階に応じたルールの工夫をするために、自己や仲間の考えたことを他者と伝え合い、考えを深められる力を身に付けさせたい。
- 4 本時の学習（本時8／12）
  - (1) ねらい
    - ・ より楽しめるゲームルールを作り上げるため、自己や仲間の考えた工夫や改良点を他者に伝えることができる。

### (2) 展開

配時	学習時間	指導上の留意点◆評価規準（方法） <small>□進んでいる生徒への手立て ■支援が必要な生徒への手立て</small>
7	1 準備運動、ドリル練習をする。 ・ キャッチボール、素振り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体操はリズムに合わせて、体を大きく動かすよう指示する。</li> </ul>
7	2 本時の学習課題を確認する。	
みんなが納得して楽しめるようにゲームルールを工夫・改良しよう		
<b>【本時のゲームルール】</b> 「3球以内に安打できなければアウト」 「打者は打った後、バットをコーンに入れてから走塁する」 「5mゾーンでボールが止まるとアウト」		
10	3 チームで練習をする。 ・ ティーバッティング ・ シートノック ・ ポジション別守備練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時の学習カードから、本時のゲームで採用するルールについて確認する。</li> <li>□細かいルールはチームで教えながらゲームを進めるよう助言する。</li> <li>・ 自分のポジションや役割を確認してから練習するよう指示する。</li> <li>■バットを上手く振れない生徒には、軽いバットを使用させ、正しいフォームを意識させる。</li> </ul>
15	4 ゲームをする。 ・ ティーを使用する。 ・ できていることや困ったことなどをメモしながらゲームを進める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゲーム中、タイミングをみて、課題を確認するよう声かけし、常に課題を意識してゲームに臨ませる。</li> <li>・ 攻撃時には、バッター以外の生徒が決められた場所で待機しているか目を配り、必要に応じて注意喚起する。</li> </ul>
8	5 チームで話し合いをする。 ・ ゲームのメモを参考に、次時のゲームで採用したいルールについて話し合う。 「走者は進塁のみで、タッチアウトはなしにする」 「外野手は高く上がったボールをグラブに当てればアウト」 「送球ミスの進塁は1つまで」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の考えだけでなく、仲間の考えも受け入れ、全員が納得できるルール作りになるよう助言する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <b>◆思考・判断・表現</b>                      より楽しめるゲームルールを作り上げるため、自己や仲間の考えた工夫や改良点を他者に伝えようとしている。                      （観察、ワークシート）                 </div>
3	6 本時の振り返りをする。 ・ 本時の取組について自己評価を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己の取組について振り返らせるとともに、次時の課題を確認する。</li> </ul>